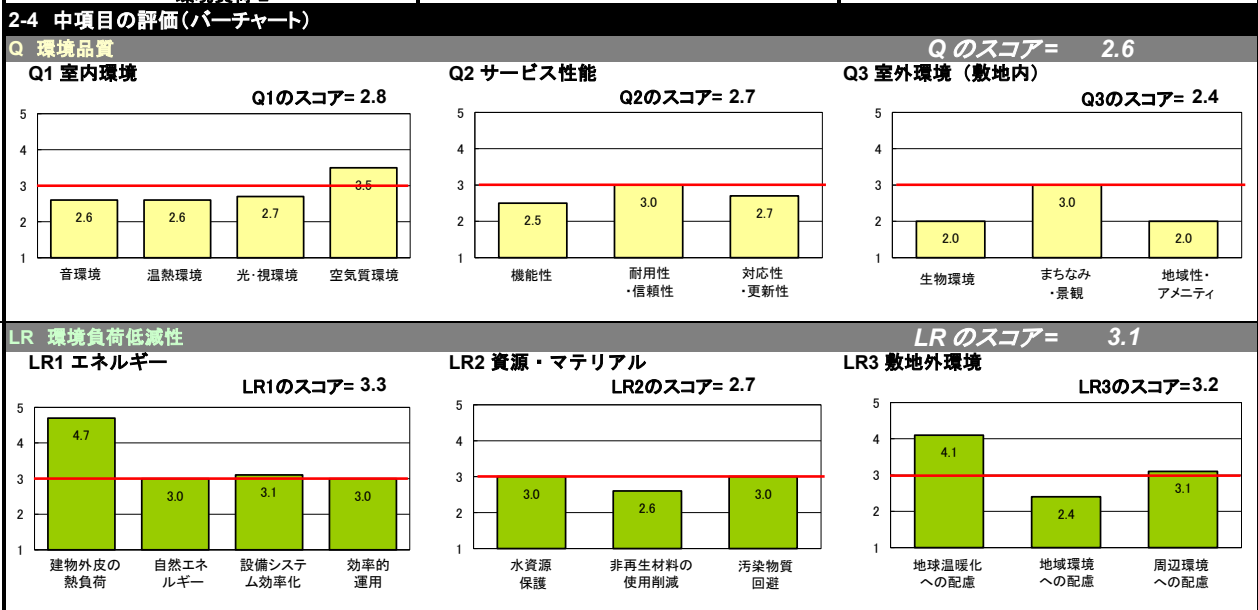
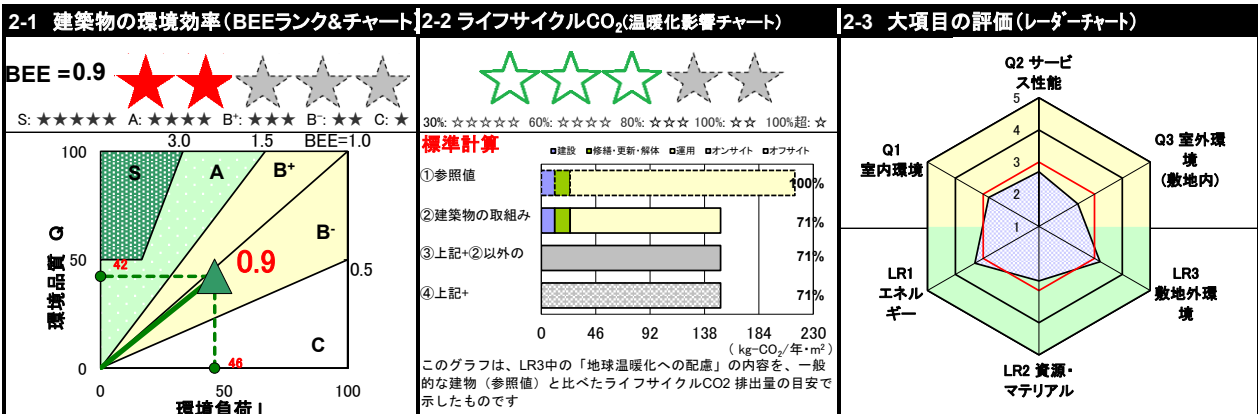


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)茅ヶ崎ホテル計画 新築工事	階数	地上8F
建設地	茅ヶ崎市新栄町5641番10及び5652番2	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	340 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	飲食店、ホテル	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2028年9月 予定	評価の実施日	2026年2月16日
敷地面積	1,327 m ²	作成者	新日本建設株式会社一級建築士事務所
建築面積	856 m ²	確認日	2026年2月16日
延床面積	5,493 m ²	確認者	新日本建設株式会社一級建築士事務所



3 設計上の配慮事項		
総合 本計画は茅ヶ崎駅北口に位置する95室のシティホテルとして、都市利便性を兼ね備えながらも茅ヶ崎らしい空気感に寄り添う滞在体験を提供することを目的としています。1階にはホテルフロントに加え、飲食テナントを2区画設けることで複合的なにぎわいを創出し、街との接点を持つ構成としています。2階には大浴場およびラウンジを配置し、宿泊者のみならず、地域利用も想定した計画とすることで、地域に開かれたホテルを目指した。	その他 特になし	
Q1 室内環境 F☆☆☆の建材をほぼ全面的に採用するなど、室内環境の向上に努めている。	Q2 サービス性能 空調・給排水配管の更新対策にも配慮した設計とし、建物のサービス性能の向上に努めている。	Q3 室外環境(敷地内) 特になし
LR1 エネルギー BEI=0.67としている。	LR2 資源・マテリアル LGS下地を採用し、躯体と仕上材が容易に分別可能としている。	LR3 敷地外環境 LCCO ₂ 排出率71%とし、光害抑制にも配慮している。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される